

## 学校長あいさつ

保護者の皆様、お子様のご入学・進級、おめでとうございます。

山田小学校、第35代校長の奥苑 浩二（おくぞの こうじ）です。本年度で2年目となります。

管理職としては9年目で、校長としては2校目、4年を過ごしました。

私の教育のモットーは「主体性のある子ども（自らよく考える子）を育てる」ことであり、指示待ちでない子ども、自分の頭で考えて行動できる意欲ある子どもを育てたいと考えています。

山田小学校は、長らく「めざす子ども像」として三つの目標を定め、教育活動を展開してきました。（思いやりのある児童、最後までやりぬく児童、自主的に行動できる児童）

私は、その三つの子ども像の上に「自らよく考える子」という「冠（かんむり）」を配しました。「自らよく考える子」というのは、最終的にこのような子どもが育ってほしいという結果目標であるとともに、普段の生活からの行動目標です。

小学校段階で、「自らよく考える」経験を重ねることで、生涯を通して、自らの人生の様々な問題に立ち向かっていくことのできる、主体性のある子どもが育つと私は考えます。そして、そのような経験の中で「知・徳・体」の調和的な伸長が図られ、山田小が長らく掲げている三つの子ども像が達成され则认为ます。

朝、門で子どもたち迎えていると、「おはようございます!!」と元気な声がたくさん返ってきます。素直でまっすぐな山田小の子どもたち、さらにまっすぐに、主体的で意欲のある子どもたちに育てたいと思います。

保護者の皆さま、地域の皆さま、ご協力・ご支援のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

枚方市立山田小学校長

奥苑 浩二

## 山田小学校の紹介

ゆりの木 とうかえでの木



本校は今年創立146年目となる、歴史ある学校です。

京阪枚方市駅から北東にバスで約10分のところに位置し、周りを住宅に囲まれた地にあります。校庭には、樹齢100年を

超える大きなトウカエデの木があり、「ゆりの木」の愛称で

親しまれてきました。ゆりの木は、季節の変化を告げながら、何十年も山田小学校の子どもたちの成長を見守り続け、たくさんの卒業生にとって、心のふるさとになっています。

明治12年の創立以来、枚方市の人口増加に伴い、本校が母体となって、明倫、桜丘、交北、中宮、田口山、山田東小学校へと分離し、育んできた歴史があります。この間、歴代の校長先生、教職員をはじめ、保護者、地域の皆さま方のご支援、ご協力により、多数の卒業生が巣立っていきました。

令和7年度は、児童数は182人でスタート。通常学級7学級、支援学級5学級の合計12学級です。通級教室を併設しています。

## 自ら よく考える子

令和6年度からの学校教育目標です。

小学校段階で、「自らよく考える」経験を重ねることで、生涯を通して、自らの人生の様々な問題に立ち向かっていくことのできる、主体性のある子どもが育つと考えます。そして、そのような経験の中で「知・徳・体」の調和的な伸長が図られ、山田小が長らく掲げている三つの子ども像（思いやりのある児童、最後までやりぬく児童、自主的に行動できる児童）が達成されると考えます。

## みんなちがって みんないい

小規模校ならではのあたたかい雰囲気の中、『みんなちがって みんないい』のスローガンの下、教職員一同チームワークを大切に、保護者や地域の皆さま方のご理解とご支援をいただきながら教育活動を展開しています。

集団作り「三つの約束」を各クラスで掲示し、教職員、子どもたちともども共通認識のもと、日々、過ごしています。

スローガン 「みんなちがって みんないい」

- 三つの約束
- ①自分も大切に、友だちも大切に。
  - ②ルールやマナーを守ろう。
  - ③お互いの良さやちがいをみとめ合おう。

## 学び合う 関係づくり

協働的な学習に取り組み、2年目となりました。

昨年度は「聴き合う関係づくり」を推進しました。そして、本年度は一歩進んで「学び合う関係づくり」を推進します。

本校の取り組みが子どもたちの「主体的・対話的で深い学び」につながり、本当の意味での「生きる力」を育むことになればと思います。

研究テーマ 「みんなで学ぼう山田っ子～学び合う関係づくり～」

テーマ設定理由

- ・協働的な学びを通して、「伝え合う力」を育成する。
- ・研究2年目は、「聴き合う関係づくり」を土台として、そこから「学び合う」ことを積み上げる。
- ・数年先を見通して、「自ら課題を決め、自ら解決していく力」を養う。